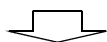


学校経営の方針 構造図

- 1 校 訓 （平成19年度設定）
自 律 協 同
- 2 教 育 目 標 （平成19年度設定）
『夢と友情をはぐくむ生徒』
～自主の態度、表現の能力、協調の精神を培う～
- 3 努 力 目 標 （目指す生徒像） （平成26年度設定）
 - (1) 目標をもって学習し、自分を高める生徒
 - (2) 自他の存在を大切にし、共に生きる生徒
 - (3) 健康と安全に努め、粘り強くやり遂げる生徒



4 目指す学校像

教職員同士が支え合い、学び合う同僚性

教職員や専門スタッフ等の多職種で組織される学校がチームとして実効的に機能するには、職場の組織風土（雰囲気）が大切

- (1) 「いのち最優先」
安全・安心を最優先に、生徒一人一人にとっての居場所があり、存在感・成就感・有用感を実感することのできる学校づくりを目指す。
※生徒一人一人の態度に現れる微妙なサイン（SOS）に注意を払い、「チーム学校」で支援する。
- (2) 「自律貢献」
生徒一人一人が、自ら考え、判断し、行動する力を身に付け、我慢強さと思いやりの心をもって社会に貢献できる人間が育つ学校づくりを目指す。

学校目標

『自ら考え行動し、仲間や地域に貢献できる生徒の育成』

～進んで、奉仕活動（自分以外のために活動）のできる生徒～

重点施策

- ① 特別支援教育の視点を踏まえた、教育活動の実践
- ② 挑戦と自浄力のある生徒活動の充実
～成功体験や成就感を味わう事のできる活動の推進～
- ③ 他の人のために頑張る経験（奉仕活動、防災教育等）を通して、自己有用感を育む教育活動の推進